

## 『摂南大学教育学研究』第4号発刊にあたって

「摂南大学教育学研究」編集委員会

委員長 村 田 俊 明

本研究年報第4号を発刊するにあたり、ごあいさつ申し上げます。ここに掲載された各論稿は、各執筆者の日々の実践に基づいており、本研究年報における教育の理論研究と実践的研究交流を行うという趣旨にそうものです。

昨年教育三法改正・成立によって、平成21年度から改正教員免許法の施行が決定している現在、それへの抜本的且つ早急の対応が求められつつあります。具体的には、「教員免許更新制」の導入や「教職実践演習」の新設など、教職課程の枠組みの改革です。

教職教室は、これまで「明日の教師」をめざす学生に、教育のあり方を本質的に問い、考える力をつけようと努めてまいりました。また学内でも「教職フォーラム」等を企画・開催し、教職課程のあり方や教員養成改革に関する情報収集を行なってきましたが、今後、さらに全学的な支援体制のもとに、新しい教員養成にむけた体制づくりを進めていきたいと考えております。

いずれにしても、教師をめざす学生の資質・力量向上の前提になるのは、日々の授業における学生との教育的な関係と指導実践の継続性にあることは、疑問の余地がありません。その意味で、本年報に掲載された各論稿は、教員養成にあたる教員の努力を込めた成果です。各執筆者の研究の成果と思いをとお汲みとりいただければ幸いです。

2008年1月5日